

「放射線業務従事者線量等報告書」および「放射線管理等報告書」の訂正について

2016年6月17日

当社が原子力規制委員会に提出している「放射線業務従事者線量等報告書(※1)」および「放射線管理等報告書(※2)」の記載に誤りがあったことから、本日、原子力規制委員会に対して訂正した報告書の提出および原因と対策の報告をいたしましたのでお知らせします。

<訂正内容>

過去10年分の報告書を確認したところ、「放射線業務従事者線量等報告書」で6項目、「放射線管理等報告書」で4項目に誤りがありました。訂正内容は別紙をご参照ください。

<原因>

当該報告書を作成する際に、一部のデータの転記や端数処理などを誤ったことに加え、集計者以外の者によるダブルチェックが不足しているものが一部ありました。

<対策>

報告書の作成ガイドを充実または新たに作成し、集計および確認方法を明確にするとともに、注意事項を記載することで同様の誤りを防ぐようにします。

これに加えさらなる対策として、報告書のとりまとめ部署において前回分の報告書の内容と比較することで記載に誤りがないか再度確認するようにします。

また、今回の事象を継続的に周知することで意識を高めるようにします。

なお、報告書作成の際にデータの誤りが発生したものであるため、誤りがあった項目の評価に影響はありません。

別紙1 「放射線業務従事者線量等報告書」の訂正内容

別紙2 「放射線管理等報告書」の訂正内容

※1 放射線業務従事者線量等報告書は、「放射線業務従事者の線量等に関する報告について」(平成14・03・18 原院第3号)に基づき原子力規制委員会に一年に一度提出している報告書です。

※2 放射線管理等報告書は、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき原子力規制委員会に半年に一度提出している報告書です。

以上

「放射線業務従事者線量等報告書」の訂正内容

項 目		掲載 報告書	訂正内容	
			誤	正
5号機排水口の ³ H放出量		2010年度	5.2×10^{10} Bq	4.1×10^{10} Bq
5号機 ³ H濃度			4.0×10^{-5} Bq/cm ³	3.2×10^{-5} Bq/cm ³
イオン交換樹脂の発生量 (当該年度の発生量)		2013年度	27 m ³	26 m ³
チャンネルボックス の保管量等	(当該年度の減少量)	2014年度	0 本	11 本
	(施設外減量)		0 本	11 本
	(年度末保管量)		6,620 本	6,609 本
イオン交換樹脂の発生量 (当該年度の発生量)		2015年度	8 m ³	7 m ³
中性子検出器の発生量 (当該年度の発生量)			8 本	0 本

「放射線管理等報告書」の訂正内容

項 目		掲載 報告書	訂正内容	
			誤	正
4号炉復水器冷却水排水口における濃度の検出限界値に相当する濃度 (後半の3月間平均)		2006年度 上期	2.4×10^{-7} Bq/cm ³ 以下	2.5×10^{-7} Bq/cm ³ 以下
5号炉復水器冷却水排水口における濃度の検出限界値に相当する濃度 (前半の3月間平均)		2009年度 下期	7.0×10^{-8} Bq/cm ³ 以下	8.4×10^{-8} Bq/cm ³ 以下
5号炉復水器冷却水排水口における ³ Hの平均排水口濃度 (後半の3月間平均)		2010年度 上期	9.0×10^{-5} Bq/cm ³	1.9×10^{-5} Bq/cm ³
各号炉復水器冷却水排水口における濃度の検出限界値に相当する濃度	1,2号炉 (前半の3月間平均)	2011年度 上期	1.6×10^{-7} Bq/cm ³ 以下	7.7×10^{-8} Bq/cm ³ 以下
	1,2号炉 (後半の3月間平均)		2.8×10^{-8} Bq/cm ³ 以下	4.5×10^{-8} Bq/cm ³ 以下
	3号炉 (前半の3月間平均)		3.3×10^{-7} Bq/cm ³ 以下	1.8×10^{-7} Bq/cm ³ 以下
	3号炉 (後半の3月間平均)		6.9×10^{-8} Bq/cm ³ 以下	2.8×10^{-7} Bq/cm ³ 以下
	4号炉 (前半の3月間平均)		6.6×10^{-8} Bq/cm ³ 以下	6.5×10^{-8} Bq/cm ³ 以下
	4号炉 (後半の3月間平均)		3.2×10^{-7} Bq/cm ³ 以下	3.8×10^{-7} Bq/cm ³ 以下
	5号炉 (前半の3月間平均)		2.3×10^{-8} Bq/cm ³ 以下	1.7×10^{-8} Bq/cm ³ 以下